

【玖珠町】

校務 DX 計画

玖珠町では、校務の DX（デジタルトランスフォーメーション）化を推進し、業務の簡略化を図ることで教職員の働き方改革を実現するため、以下の通り取り組みます。本計画は、「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や、「GIGA スクール構想下での校務 DX 化チェックリスト」による自己点検結果を踏まえて策定しました。

1. 校務のデジタル化について

- ・ 県内統一の校務支援システムを導入し、市町村間での人事異動に伴う教職員の負担軽減を図ります。
- ・ 名簿情報の不要な手入力作業をなくし、学校業務支援を強化することで、事務作業の効率化を推進します。
- ・ 「校務支援システム連絡協議会」等を通じて課題を確認し、必要な機能を備えた校務支援システムの導入・改善に取り組みます。
- ・ 令和 6 年度には全ての町立学校において学校サイト（G o o g l e サイト）を立ち上げ、クラウド環境下での情報の一元化に取り組んでいます。また、保護者との連絡ツール（TETORU）を導入し、出欠確認の迅速化や、配布物の電子化による紛失・未受領リスクおよび印刷・配布コストの軽減をさらに図ります。
- ・ 校務における FAX 利用や押印は、原則廃止します。

2. データ連携について

- ・ 校務や学習支援において学習支援ソフトを活用し、資料共有や連絡事項の確認を効率化することで、教職員間および児童生徒間の双方向データ連携を強化しています。
- ・ 学校内で扱うデータは、共有ドライブ等を活用することで、クラウド環境下での強みを最大限に活用します。
- ・ クラウドベースでの運用により、ロケーションフリーによる校務を推進し、教職員の働き方に寄与するとともに、学校運営の効率化、教職員・児童生徒・保護者間の情報共有の円滑化に取り組みます。

3. クラウド化について

- ・ 玖珠町では令和 2 年度より Chromebook を導入し、独自ドメイン（kusu.ed.jp）を取得しました。これにより、職員・児童生徒のアカウントを作成し、Google Classroom および Google フォームを活用することで、効率的な提出物管理と自動集計を実現しています。
- ・ また、クラウドサービスの活用により、情報共有の円滑化とペーパーレス化を推進しています。

4. 生成 AI の活用について

- ・ 令和 5 年 7 月 4 日に文部科学省が示した「初等中等教育段階における生成 AI の利用に関する暫定的なガイドライン Ver. 2.0」を受け、玖珠町においても「生成 AI の利用に関するガイドライン」の策定に取り組んでいます。

- また、新たに改訂版として令和 6 年 12 月 26 日に文部科学省から示された「ガイドライン Ver. 2.0」を参考にしながら、玖珠町版のガイドラインの改定作業に取り組みます。
- 今後も国内先進地などの事例や活用に関する情報収集に努め、校務における生成 AI の適切な活用を支援します。